



National Institute of Technology, Toyama College

02 校長ごあいさつ

03 平成27年度 卒業証書・修了証書授与式

08 進路一覧

10 就職・進学体験記

12 インターンシップ

14 退職教職員挨拶

15 News & Topics

16 平成28年度行事予定／編集後記



富山高等専門学校長
石原 外美



「将来設計」のすすめ

暖かな春の日差しが心地よく、また、そよぐ風にも、咲き始めた花々の新しい匂いを感じ取ることができるよい季節となりました。諸君は授業も終わり、よい春休みを楽しんでいるものと推察しています。

今回は「設計(Design)」という言葉を考えてみたいと思います。

広義でいう「設計」は、社会の機構・組織・制度、機械・器具などをいろいろ組み合わせて、特定の目的を達成するためのシステムを作り上げるための、知的な作業を指します。一方、狭義の「設計」は、主に機械工学、電気工学、土木工学、建築工学等の工学の分野における知的作業を指す言葉として用いられています。

「設計(Design)」は、物理や数学などのようにあらかじめ正解がある問題ではなく、社会の組織・制度、あるいは工学分野における複雑な系などを対象とするため、正解が一つではない問題を対象とします。

このような問題を解決するには、全体を俯瞰(ふかん)し、多面的に物事を考えることが必要となります。そして、そのためのいろいろな知識が必要となります。

さて、上記の「設計(Design)」と少し対象、あるいは内容が異なりますが、類似の言葉として、「人生設計」あるいは「将来設計」があります。自分の適性に応じて、教育、職業、結婚など、自分の人生についての計画を立て、これらの目標の達成に向かい、日々準備、努力することは大事であると思います。もちろん、時間の経過に伴い、「将来設計」の内容は変化していきますが、それを意識しつつ生活することも必要であると思います。この春休み期間中に、自分の適性を考えて、「将来設計」してみるのもよいかと思えます。将来、どのような職業を得て、どのような生き方をしたいのかを考えてみたらどうでしょうか。

平成27年度

卒業証書・ 修了証書授与式

Commencement



富山高等専門学校
後援会会長
中道 真由美

卒業を祝して

ご卒業おめでとうございます。

卒業の時にあたって、入学の時からの自分を振り返ると、どれだけ成長したか！ 自分でも、実感できると思います。高校ではなく、富山高専という学生としての自覚を早くから求められる学び舎での、勉強、友人、恩師、これからの人生で大切なものをたくさん身につけたことでしょう。今までもいろいろなことがあったと思いますが、これからも、もっといろいろなことが起こります。「幸せ!」「楽しい!」と感じるのは自分自身です。経済の合理性の価値観が変わりつつある現在、多様化した価値観を、自分で磨き、自分の感性を信じてください。高専で、身につけた技術と思いを手に、みんなひとりひとりがそれぞれ何かをしていく。それが、ダイバーシティ(人の多様性)を認められる、みんなで、楽しく繋がっていく社会です。みんなちがって、みんないい。

何が本当に幸せか？ 何が本当に楽しいか？ 何かあったときに、自分に問うてみてください。自分が本当に大切なものが見えてきます。

最後になりましたがここまで、成長したお子様が自立していく姿を見る保護者の方々の感動は格別だと思います。おめでとうございます。校長先生をはじめ、教職員のみなさまの温かいご指導を感謝申し上げます。

富山高等専門学校
後援会筆頭副会長
木下 幸一

卒業生の 皆さんへ

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様には、今日の佳き日を迎えられることに、心よりお祝い申し上げます。

石原校長先生をはじめ、教職員の皆様、そして、この日を迎えるまで支えてくださいました多くの関係各位の皆様にも、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、卒業生の皆さんは、今日から、それぞれ目指した進路を進まれることになります。夢・希望・不安・恐れ…いろいろな感情が入り乱れていることと思います。

しかし、この富山高等専門学校のそれぞれのキャンパスで学んだ学力を剣とし、育んだ心の強さを盾とし、そして多くの仲間たちと作り上げた友情を羅針盤として、社会の大海原に帆をあげてください。

今日から皆さんは、それぞれの船の船長(キャプテン)です。時には嵐に遭い、難破しそうになる事があるかもしれません。また、時には屈で進むことができない時もあるでしょう。でも、そんな時は思い出してください。君たちの後ろには、いつもあの雄大な立山連峰があったことを。そして、ご指導くださった恩師、多くの先輩方、そして共に学びあった仲間たちがいることを。

卒業生の皆さんの今後の活躍と健康、その行く末に幸多からんことを祈念して、お祝いの言葉とします。

平成27年度卒業生・修了生数

学科生	190名
機械システム工学科	36名
電気制御システム工学科	35名
物質化学工学科	42名
電子情報工学科	42名
国際ビジネス学科	35名
専攻科生	45名
エコデザイン工学専攻	
機械・電気システム工学コース	17名
機能材料工学コース	12名
制御情報システム工学専攻	11名
国際ビジネス学専攻	5名





5年間で得たもの

卒業生代表
国際ビジネス学科 **山川 あかり**

5年前の春、期待に胸を膨らませ入学式に臨みました。とりまく環境すべてが新しく、戸惑いも多かったことを覚えています。あれから5年、私たちは大きく成長しました。思い出すべてに友人の影が見えます。高専生活をかけがえのない思い出にしてくれた友人の存在は、一生の財産です。個人としては、留学が心に残ります。言葉や文化が違う環境での生活は、多くの学びを与えてくれ、出会いのかけがえのなさに気づかせてくれました。本校の5年間で多くの人に出会い、支えられました。熱心に指導して下さった教職員。多くの時間を共にした後輩。どんな時も見守り、味方でいてくれる家族。その他多くの方々にも、感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちは、新しい道を歩み始めます。進学する人、就職する人、それぞれの春を迎えます。暖かな日もあれば、先の見えない寒い日もあります。寒い日でも、私たちの背中を押してくれるのが本校で培ってきた知識、経験、絆です。困難を乗り越え、富山高専の卒業生としての誇りを持ち、それぞれの花を咲かせます。母校のご発展をお祈り申し上げ、答辞といたします。



専攻科で学んで

修了生代表
エコデザイン工学専攻 **林 宏樹**

専攻科での2年間の生活は、様々な経験と多くの出会いに恵まれた日々でした。専攻科では全学科が合同で受ける共通科目や、出身学科を横断したチーム編成で行う科目があります。また2週間のインターンシップでは、普段体験できない実社会の職場の業務に触れ、社会人としての心構えを学び、自らを見つめ直す機会になりました。これらの経験を通して様々な人の考え方に刺激を受け、技術者として視野の広さが重要である事を改めて実感することができました。

私が専攻科で最も力を入れたのは特別研究でした。研究は農業用ロボットに関するもので、本科の卒業研究と合わせて3年間取り組みました。小さな目標を一步一步達成していく中で研究活動の苦しさや面白さを経験し、自らで考え抜く事の重要性を学びました。

私たちにとって当たり前となっていた高専での7年間の生活が今日終わりを迎えます。高専で得たものを支えとすれば、これから先のどんな困難も乗り越えられると信じています。今後は、富山高専でお世話になった皆様の心と、学んだ多くの事を胸に、自分の夢に向かって新たな一歩を踏み出します。

学会賞

本校から学会等に推薦するもの

電気学会北陸支部優秀学生賞
前田 哲哉（電気制御システム工学科）

日本機械学会富山賞
谷口 和輝（機械システム工学科）
前田 哲哉（電気制御システム工学科）

日本設計工学会武藤英次賞優秀学生賞
松葉 寿明（機械システム工学科）

日本原子力学会フェロー賞
中田 直樹（エコデザイン工学専攻）

日本電気技術者協会北陸支部優良卒業生
山田 大貴（電気制御システム工学科）

計測自動制御学会北陸支部優秀学生賞
江淵 文人（電気制御システム工学科）

映像情報メディア学会北陸支部優秀学生賞
安川 諒（電気制御システム工学科）
西尾 海（電子情報工学科）

日本化学会近畿支部第18回工業高等専門学校生
化学研究発表会支部長賞
大森 一樹（物質化学工学科）
草山 怜司（物質化学工学科）

情報処理学会北陸支部優秀学生賞
澁谷 和帆（電子情報工学科）

電子情報通信学会北陸支部優秀学生賞
富岡 直矢（電子情報工学科）

教員からのメッセージ

Message

■本郷キャンパス担任・専攻科長

本郷キャンパス

機械システム工学科
5年担任

佐瀬 直樹



卒業にむけて

5年生の皆さん、卒業おめでとございます。また保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。最終学年の担任は、大きな責任を背負いまた多忙を極めますが、それに勝る無上の喜びを味わう特権があります。今まさにその感慨にしみじみとひたっております。皆さんが本学に入学して5年、今思えばあつという間であったかもしれません。しかし様々な心が揺さぶられる出来事があったことでしょう。50歳を超える私でさえ、この5年を振り返ってみれば、いろいろな自分の変化や環境の変化がありました。十代後半の最も心が敏感な時ならなおさらでしょう。しかしその変化に対応し、問題を乗り越えていくことが人間としての進歩にもなります。障害にぶつかること、変化を余儀なくさせられることを恐れないでください。新しいことに挑戦し変わっていくためには、大きなエネルギーを要しますし、苦しいときもあるかもしれません。けれども自分が成長するときが来たと考え、笑って立ち向かっていってください。皆さんが社会で活躍する日を楽しみにしております。

本郷キャンパス

電気制御システム
工学科5年担任

櫻井 豊



卒業証書・修了証書授与式に臨んで

卒業は、どの学校や年齢でもイベントとして印象的で胸の熱くなるものです。元々教員スタートでない私でもそうです。保護者方のお気持ちも5年間の長丁場なら尚ひとしおでしょう。私にとって卒業生受け持ちは2回目。初回は本校に赴任5年経過後、今回は定年5年残してです。どちらも印象深いものですが、前回の卒業生達は、数年前クラス会に呼んでくれました。迷い悩んでいた彼女らが元気に社会で活躍している姿を見るのは本当にうれしいものです。卒業は学業のおさめであり旅立ちです。諸君は日一日と成長してきたはずですが、この機会に脱皮、あるいは物質の転移現象の様に新しい環境で質的転換をはかり、華麗に変身した姿をクラス会で見せてください。

本郷キャンパス

物質化学工学科
5年担任

安田 賢生



卒業を祝して

皆さん、ご卒業おめでとございます。皆さんは旧工業高専から数えて48回目、新高専になってから2回目の卒業生です。これまで化学系学科を卒業した人は、皆さんを含めると1,800人を超えることになります。さて、高専を卒業し、皆さんはそれぞれ就職や進学へと新たな道を歩まれるわけですが、「石の上にも三年」です。何事にも諦めずに辛抱強くそして忍耐を持って、少なくとも3年はこの気持ちで励んでください。これまで多くの卒業生が各方面で活躍されております。そして、皆さんも先輩方に負けないよう、獅子奮迅のご活躍をされることを期待しています。そして、その結晶をぜひ学校まで見せにきていただければ幸いです。

本郷キャンパス

専攻科長・
副専攻科長

岡根 正樹



専攻科修了おめでとうございます

今年度から、いわゆる“特例認定専攻科”となったことに伴い、みなさんは、学位の取得に際しての小論文試験が不要になりました。中途半端な時期に、小論文試験にとられることなく、特別研究に専念できるようになったことは、大きなメリットだと思います。専攻科では、高度な専門知識はもちろん、チームワーク力やリーダーシップについても、多くを学んだのではないかと思います。自分の価値観に固執せず、他人の意見にも耳を傾け、出世して偉くなるほど包容力を持ち、常に、視野を広く持ってください。井の中の蛙にならないことです。今後は、専攻科で身につけた能力を大いに発揮し、それぞれの進路でご活躍されることをお祈りしております。

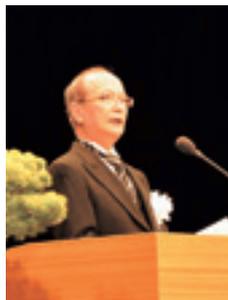


卒業生・修了生の皆さんへ

在校生代表
電子情報工学科4年 **西野 香穂**

在校生一同、お祝いとお慶びを申し上げます。

真新しい制服に身を包んだ入学式からの思い出が今、走馬灯のように思い出されるでしょう。親元を離れた寮生活、一般・専門が並行した教育課程、多様な学科・年代との部活動、すべてが新鮮だったはず。楽しかったこと、辛かったことも多くあったでしょう。しかし、5年(7年)一貫教育という充実した環境で、尊敬できる先生や信頼できる友人と出会い、共に困難を乗り越えた自身に誇りを持っていらっしゃるでしょう。日常生活や学校行事で、多くを教え、堂々と引っぱってくださる先輩の背中には頼もしく、目に焼きついています。その姿は、これからの富山高専の伝統を築く礎です。また、東日本大震災から5年、皆様も復興を目指し奮闘する一員となり、これからの日本、世界の希望となるでしょう。これから歩む道には、壁が立ちはだかることもあるでしょうが、高専生活を共にした仲間や、本校で培った知識や経験があります。胸を張り、新たな道を歩んでください。後輩一同は、いつでも先輩の味方となり、応援させていただきます。



学生表彰

本校表彰規程によるもの

学業優秀賞

- 谷口 和輝 (機械システム工学科)
- 前田 哲哉 (電気制御システム工学科)
- 大森 一樹 (物質化学工学科)
- 大島 佑太 (電子情報工学科)
- 山川 あかり (国際ビジネス学科)
- 小野寺 大輝 (エコデザイン工学専攻)
- 萩中 和斗 (エコデザイン工学専攻)
- 松浦 草太 (制御情報システム工学専攻)
- 広島 瑠衣 (国際ビジネス学専攻)

特別賞

- 学生会副会長 安川 諒 (電気制御システム工学科)
- 学生会長 五百崎 太郎 (電子情報工学科)

スポーツ賞

- 全国高等専門学校体育大会陸上競技
- 110m ハードル優勝 五百崎 太郎 (電子情報工学科)
- 女子4×100m リレー 2位 鎌倉 由佳 (電子情報工学科)
- 栗山 結衣香 (国際ビジネス学科)

功労賞 (学生会等活動に対する表彰)

- 学生会副会長 小林 友花 (国際ビジネス学科)
- 学生会活動 堺 俊貴 (機械システム工学科)
- 学生会活動 佐々木 翔也 (物質化学工学科)
- 学生会活動 高原 小夜 (物質化学工学科)
- 寮生会活動 宮原 康輔 (物質化学工学科)
- 寮生会活動 松本 彩 (物質化学工学科)
- 学寮会副会長 藤崎 健太郎 (電子情報工学科)
- 学寮会副会長 河上 嘉子 (国際ビジネス学科)

(卓越した学生に対する表彰)

- 谷口 和輝 (機械システム工学科)
- 草山 怜司 (物質化学工学科)
- 五百崎 太郎 (電子情報工学科)
- 大辻 彩加 (国際ビジネス学科)
- 中田 直樹 (エコデザイン工学専攻)



教員からのメッセージ

Message

■射水キャンパス担任・副専攻科長

射水キャンパス

電子情報工学科
5年担任

椎名 徹



卒業、おめでとう。

高専通信Vol.15の表紙に約40年前の本郷キャンパスの航空写真が掲載されました。当時、私は電気工学科の学生であり、グラウンドをウサギやイタチが時折、駆け回っていた日々を懐かしく思い出します。今年来校した求人担当の方からは、本校卒業生の活躍ぶりを多く耳にしました。求人企業の中には、同級生や教え子(後輩)が担当することもあり、学生時代やお互いの近況を話すこともできました。今はまだ実感することができないかもしれませんが、心身ともに最も成長する高専5年間で培ったことは確実に身につけており、自分の夢実現に向けて必ず役立ちます。これからも人との出会いを大切に、自分のペースで何事にも挑戦してください。

射水キャンパス

国際ビジネス学科
5年担任

岡本 勝規



「過去」を生かせ

国際ビジネス学科2期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。5年間の高専生活も「過去」となり、いよいよ旅立ちの時…と言っておいて何ですが、「過去」は使い道があるものなのです。例えば、人は事態を予測するために「過去」を援用します。説得する時には「過去」を正当性の根拠に使用します。他者の「過去」を学習すれば知識となり、「過去」を共有することで人脈が生まれます。結構使えるでしょう？皆さんの5年間も「過去」になるのですから、それだけ使える資源を獲得したのですよ。でも気をつけてください。多くの方は「過去」を選択的に使用しています。そのことを踏まえて、皆さんも「過去」を生かしつつ未来を切り開いていってください。



射水キャンパス

副専攻科長

阿蘇 司



修了生のみなさんへ

専攻科の修了おめでとうございます。それぞれの専門の学士を取得して、本科そして専攻科と過ごしたキャンパスを離れ、大学院への進学や企業への就職と、新たな生活が始まります。環境の変化に慣れるまで、しばらくは戸惑うこともあるかもしれませんが、これまでの実験や演習、卒業研究に特別研究、そして多くの課題のレポート作成を百選練磨、経験してきた皆さんであれば、自ら考えて解決する方法を見つけることができると思います。ただし、無理はしないでください。上司や同僚に聞いてみることも、他人に頼ることも大切なコミュニケーション能力です。夢を大切に、皆さんの今後のご活躍とご健勝をお祈りいたします。

進路一覧

本郷キャンパス

▶就職先 ()内は人数。

学 科

機械システム工学科

YKK(株)黒部事業所(3)/ダイキン工業(株)/アステラスファーマテック(株)/カヤバ工業(株)/花王(株)/(株)大塚製薬工場/川田工業(株)/(株)小松製作所 大阪工場/三菱重工(株)名古屋航空宇宙システム製作所/アークレイ(株)/(株)モビテック/(株)不二越/トヨタ自動車(株)/SMK(株)/DIC(株)/東日本旅客鉄道(株)

電気制御システム工学科

YKK(株)黒部事業所(2)/日本ゼオン(株)高岡工場/(株)きんでん/北陸電気工事(株)/キタムラ機械(株)/(株)日本空調北陸/中部電力(株)/北陸電力(株)(4)/(株)KNB・F/富山市役所

物質化学工学科

YKK(株)黒部事業所(2)/日本ゼオン(株)高岡工場/富山化学工業(株)/アステラスファーマテック(株)(2)/協和ファーマケミカル(株)/(株)ロキテック/ファインネクス(株)(2)/(株)堀場エステック/サントリービール(株)武蔵野工場/金剛化学(株)/立山製薬工場(株)(3)/東亜薬品(株)/東亜合成(株)/(株)カネカ/クラシエ製薬(株)高岡工場

専攻科

エコデザイン工学専攻 機械・電気システム工学コース

YKK(株)/(株)スギノマシン(2)/ファインネクス(株)/(株)不二越/田中精密工業(株)/日東メディック(株)/富山県警察

エコデザイン工学専攻 機能材料工学コース

(株)石金精機/阪神化成工業(株)/アイシン新和(株)/中越合金鑄工(株)/(株)アイザック/日本海洋掘削(株)/(株)ミズノマシナリー/(株)桑山

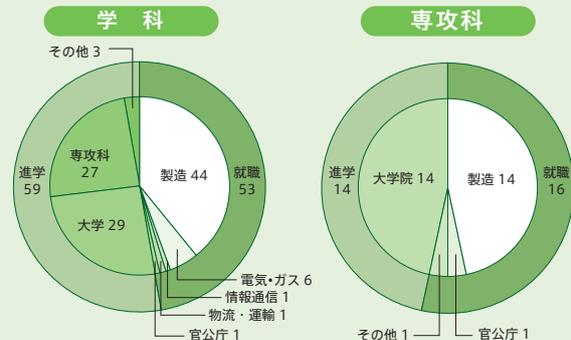
▶進学先

学 科				専 攻 科						
進学先	機械	電気	物質	進学先	機械	電気	物質	進学先	機械・電気システム工学コース	機能材料工学コース
富山高等専門学校専攻科	7	11	9	金沢大学		1	2	東京大学大学院	1	
東京工業大学			1	豊橋技術科学大学	2	1	1	東京工業大学大学院	4	2
横浜国立大学	1			(公)高崎経済大学		1		長岡技術科学大学大学院	2	
千葉大学			1	富山高等専門学校専攻科	1			富山大学大学院	1	
新潟大学	1	2	1	富山クリエイティブ専門学校	1			金沢大学大学院	1	2
長岡技術科学大学	3	3	4	国立障害者リハビリテーションセンター			1	豊橋技術科学大学大学院		1
富山大学	2	2								
				合計	18	21	20	合計	9	5

▶まとめ

	学科・専攻	卒業予定者	就職者	進学者	その他
学 科	機械システム工学科	36	18	18	0
	電気制御システム工学科	35	14	21	0
	物質化学工学科	42	21	20	1
	合 計	113	53	59	1
専 攻 科	機械・電気システム工学コース	17	8	9	0
	機能材料工学コース	13	8	5	0
	合 計	30	16	14	0

(平成27年9月修了生を含む)



平成28年3月18日現在

射水キャンパス

▶就職先 ()内は人数。※商船学科と海事システム工学専攻は高専通信15号で掲載済。

学 科

電子情報工学科

セイコーエプソン(株)/日揮(株)/北陸電力(株)/(株)NTTフィールドテクノ(2)/日立INSソフトウェア(株)/DMM.com Labo(2)/(株)ドリームアーツ/東海旅客鉄道(株)/西日本旅客鉄道(株)(2)/ANAベースメンテナンステクニクス(株)/KDDIエンジニアリング(株)/北陸コンピュータ・サービス(株)/(株)日立ビルシステム

国際ビジネス学科

YKK(株)黒部事業所/コマツキャストクス(株)/キタムラ機械(株)(2)/(株)タイヨーパッケージ/北陸電力(株)/(株)ドリコム/鴻池運輸(株)/(株)エージービー/外務省/国土交通省/財務省(東京税関)/東京都庁(2)/富山県職員警察事務/富山県庁(3)/(株)東洋信号通信社/(株)ホテルオークラ東京ベイ/石友ホーム(株)/(株)マスオカ

商船学科

YKK(株)黒部事業所/東レ(株)/出光興産(株)(2)/北陸発電工事(株)/北菱電興(株)/(株)岡本製作所/日本海洋掘削(株)/川崎汽船(株)/太洋日本汽船(株)/日本通運(株)/名港海運(株)/日本海運(株)/日本郵船(株)/(株)商船三井/宇部興産海運(株)/(株)三協/邦洋海運(株)/川崎近海汽船(株)/エスオーシーマリン(株)/栗林マリタイム(株)/(株)ダイトーコーポレーション(2)

専攻科

制御情報システム工学専攻

セイコーエプソン(株)(2)/(株)日立製作所/三菱電機(株)/富士通(株)/富士ソフト(株)/(株)NTTフィールドテクノ/(株)ドリームアーツ/(株)ソフテック/(株)国際電気セミコンダクターサービス

国際ビジネス学専攻

朝日印刷(株)/立山科学グループ/(株)SEALS/チカカ・インターナショナル・フーズ(株)/リゾートトラスト(株)

海事システム工学専攻

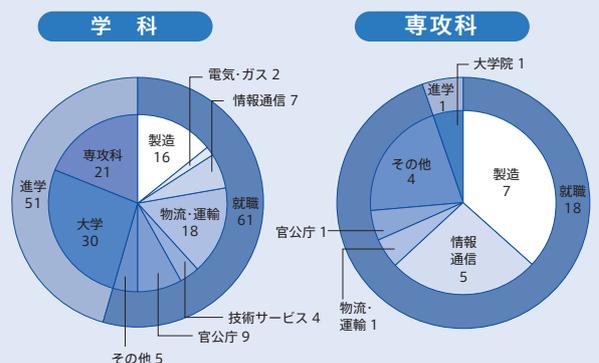
寺崎電気産業(株)/国土交通省/(株)ユニバーサルワーカーズ軍艦島コンシェルジュ

▶進学先

学 科				専 攻 科							
進学先	電子情報	国際	商船	進学先	電子情報	国際	商船	進学先	制御情報	国際	海事
富山高専専門学校専攻科	13	3	5	長岡技術科学大学	1		3	豊橋技術科学大学大学院	1		
筑波大学	2	1		富山大学	3						
宇都宮大学	2			金沢大学		1					
東京外国語大学		1		信州大学	1	1					
東京海洋大学			2	名古屋大学		1					
電気通信大学	1			豊橋技術科学大学			2				
横浜国立大学				滋賀大学		1					
千葉大学	1			神戸大学		1	2				
新潟大学	1	1		大阪市立大学		1					
				合計	25	12	14	合計	1		

▶まとめ

	学科・専攻	卒業予定者	就職者	進学者	その他
学 科	電子情報工学科	42	16	25	1
	国際ビジネス学科	35	22	12	1
	商船学科	38	23	14	1
	合 計	115	61	51	3
専攻科	制御情報システム工学専攻	11	10	1	0
	国際ビジネス学専攻	5	5	0	0
	海事システム工学専攻	3	3	0	0
	合 計	19	18	1	0



平成28年3月18日現在

就職・進学体験記

本郷キャンパス

機械システム
工学科5年

谷口 和輝



高専4年生の後学期は、私にとって進路の選択の岐路となりました。それまでは、進路について深く考えることもなく高専生活を過ごしていたため、半年以上も悩みました。私自身の将来の抱負・目標を中心に様々な情報を収集し考えた結果、自分の将来の可能性を広げるために大学への進学を選択しました。私が進学する豊橋技術科学大学では高専教育よりもさらに高度な基礎・専門科目の履修をすることができます。また国際的な交流も盛んに行われ、大学4年次には実社会で実際に技術者として業務を行う長期実務訓練を経験することができます。このような多様なカリキュラムを通じて、10年後、20年後でも社会に貢献できる人材になれるよう努力していきたいです。

自分の将来を見据えて

本郷キャンパス

電気制御システム
工学科5年

河原 圭吾



僕は高専入学時より就職希望でした。まず、4年生の時にインターンシップに参加して職場の雰囲気をつかみました。その後進路を決める際、電子機器メーカーの企業見学もしました。結局はインターンシップに行った方の電力会社を受ける事にしました。研究開発よりも管理的な業務の方が自分には合っていると考えたからです。これは人それぞれだと思います。僕が希望する電力会社は、例年とは異なり、本年度は選考開始が8月からと例年よりも4カ月ほどずれこみました。事前の見学会への参加は選考には影響ないとの事でしたが、これに参加し8月に選考試験を受けて無事内定を得ることができ、最初の希望企業に入社する事になりました。

就職体験記

本郷キャンパス

物質化学
工学科5年

金盛 開人



私はもともと就職希望でしたが、4年生の時にインターンシップに行った体験から、考えが変わり研究開発職に就きたいと思うようになったので進学することにしました。それまでは勉強する習慣がなく、定期試験は丸暗記でした。そのため受験勉強を始めて、基礎学力不足を痛感しました。春休み前まではダラダラと勉強していましたが、春休みから気を引き締め直して勉強しました。その結果第一志望の大学に合格できました。最後に、受験に際してご指導いただいた先生方に感謝の意を表すとともに、今年編入学試験を受ける後輩たちから合格報告が届くことを祈っています。あと半年ファイト!!

編入学試験を終えて

本郷キャンパス

エコデザイン工学専攻
機械・電気システム
工学コース2年

中田 優一



私が就職活動を通して伝えたいことは、会話の重要性です。企業説明会や工場見学会では、人事の方が企業についての説明をしてくださいます。そういった場では自ら積極的に人事の方に話しかけるといいと思います。人事の方と会話を重ねることで企業についての理解が深まりますし、何より印象がよく見えると思います。また自分が志望していない企業の方とも、会話してみるといいと思います。視野が広がって企業選びのよい経験になると思います。社会人になるとチーム作業が増えると思います。そうすると会話でのコミュニケーションは絶対に必要になってくるはずです。そういった時のためにも、就職活動の時点から積極的に会話でコミュニケーションをとることが大切だと思います。

就職活動を通して伝えたいこと

本郷キャンパス

エコデザイン工学専攻
機能材料
工学コース2年

斉藤 亮



大学院試験の勉強をして気がついたのは、今までと同じ分野の学科に行くとしても同じ内容を学んでいるわけではないということです。そのため、今まで用いてきた参考書では大学院試験の過去問から読み取った傾向の問題をカバーしきれないことがありました。その時、自分が受験する大学院の先輩方と連絡を取って、どのように勉強したか、どのような参考書で勉強したかを教わり、そのおかげで大学院試験に合格することができました。このことから、大学院試験の勉強において重要に感じたことは、自分が受験する大学院の先輩方と話をして様々な情報を得ることです。後輩にアドバイスをするとしたら、自分が受験する大学院の先輩と連絡を取り合い、さまざまな情報を得ることをお勧めします。

大学院試験を終えて

射水キャンパス

電子情報工学科
5年

茶木 あかり



わたしの就職活動

私が企業の第一志望を決めたのは2月頃のことでした。それから長い就職活動が始まりました。私たちの就職時期がズレたこともあり、本格的に就職活動が始まったのは4月、最終的な就職試験は8月。その4カ月もの間、企業の社員の方と面談を行ったり、企業説明会に行ったり、SPIの勉強をしたり、落ち着かない時期が続きました。皆が先に就職先を決める中での就職活動は辛いものがありましたが、教官方や友人たち、企業の方々の支えもあり、乗り越えることができました。待ちに待った、就職試験も無事に終わることができ、内定をいただくことができました。これから私たちは卒業し、社会に出ていきます。皆様への感謝の念を忘れずに、がんばっていきましょうと思います。ありがとうございました。

射水キャンパス

国際ビジネス学科
5年

大辻 彩加



自己の実現

進路を決める際、多くの先輩方から体験談を聞く機会がありました。そこでは“失敗しないため&成功するためのアドバイス”を教えてください。どうか皆さん、この体験談を鵜呑みにしないでください。人にはそれぞれのやり方がありますし、先輩が成功した方法であなたも上手くいくとは限りません。失敗を恐れず、あなたが思うようにやってみてください。きっとあなたに合ったやり方があるはずです。試行錯誤しながら目の前の物事をこなしていけば、いつかきっとあなたにとっての“成功”が見えてくるでしょう。どんなに困難な道のりであっても、どんなに周囲に反対されようとも、めげずに立ち向かっていってほしいです。

射水キャンパス

商船学科
機関コース5年

麦谷 知美



遙か、海原に挑む

古来より船の往来により繁栄した港町、伏木に生まれ育った私にとって船員になることは憧れでした。4年時のインターンシップや企業訪問を通して会社を知り、また機関士を志す決め手となったのは練習船での経験でした。就職活動ではESを教官方に見ていただき、文章の使い回しをなくし、面接では企業研究を徹底し、同業他社との差別化や志望動機、自分の強みを明確にすることが大事だと思いました。女性は出産等で海上でのキャリアが遅れますが、陸上でのキャリアを多く積めると考える事で仕事の幅も広がると思います。入社後は早く船に馴染むこと、怪我のないよう安全に作業することを心がけ、やがて至る未来へ向けて舵を取りたいです。

射水キャンパス

制御情報システム
工学専攻2年

坪内 勇樹



諦めずに挑む

専攻科では、学寮で留学生とともに過ごし、また2015年8月には国際インターンシップに参加して北アイルランドでの生活を満喫しました。異文化への興味・関心を抱きましたが、当初は英語での会話になかなか馴染めず、思っていることを伝えることも、相手の意図を知ることにも困難でした。コミュニケーションがうまく取れない時は、めげずに辞書を引筆談を用いて、相手の意思を理解しようと努めました。すると、次第に打ち解けるようになり、よい関係を築けました。就職活動ではこの経験をアピールし、臆することなく臨みました。不慣れな環境に立っても粘り強く挑み続ける、これはどの物事においても重要だと思います。学生の皆さん、今後壁に当たっても決して諦めず、自分の力を信じて挑戦していきましょう。

射水キャンパス

国際ビジネス学
専攻2年

今川 菜美子



What is your "life value"?

私はアメリカで国籍や年齢が違う人達と過ごす中で、様々な人の"life value"を知り、一般論だけがすべてではないと感じた。就活では短絡的に目先の内定を取ることをゴールにしがちだ。だが大切なのはどんな企業には入りたくないかじゃなく、どんな『生き方』をしたいかだと思う。自分なりのスタイルは多種多様な人と出会い、様々な経験しないと見えてこない。技術革新や国際化に伴い社会が急速に変化していく裏で、絶対的ブランドが緩やかに衰退している現実。居心地のいい環境で、一方的に提供されるタスク処理だけで満足しては、この先リスクだ。嘘も誠も無限に拡散している現代だからこそ、行って見て聞いて話して、自分だけのスタイルを見つけてほしい。

インターンシップ

本郷キャンパス

機械システム
工学科4年

丹羽 光志郎



友達とコミュニケーションを

私は、e.TEAM ANAで5日間のインターンシップに参加させていただきました。e.TEAM ANAとは、ANAグループの整備部門会社7社の総称です。今回は、運航整備会社、機体整備会社、装備品整備会社、エンジン整備会社を中心に見学、実習等も行わせていただきました。なかでも、運航整備会社であるLTCでは、定時運行とお客様の安心を守るために24時間体制で運航整備を行っています。LTCの整備士には、航空機を空へ送り出す最終工程を担うという非常に大きな責任があります。その責務を果たすため高度な技術知識やスキルを駆使するだけでなく、運航を支える様々なスタッフとコミュニケーションを図りながら効率的に作業を進められていました。実習中、ある整備士の方の「安全なのは当たり前、いかに“安心”して飛行機に乗っていただけるかが重要」という言葉に、社員の方々の強い信念と仕事のやりがいを感じました。今回のインターンシップは、自らの進路選択に大きな影響を与えてくれました。この貴重な機会を与えてくださった方々に感謝するとともに、目標を実現させるため、自らをさらに成長させていきたいと思えます。

本郷キャンパス

物質化学
工学科4年

碓井 直人



サントリーの精神にふれて

私は8月25日から29日までの5日間、株式会社サントリーのインターンシップに参加し、実商品の製造現場で就労体験させていただきました。同社はすでに数多くの商品がありますが、それらの製造とともに新商品の開発にも常に挑んでおり、現場の就労体験でもそれを感じることができました。これは、社風でもある「やってみなはれ」の精神を社員一人ひとりがしっかりと理解・継承しており、昨日よりもよい今日、今日よりもよい明日をつくるために努力しているからだと思います。また、高専OBからは、「それを成し遂げるには、いろいろなことを自ら考える力と幅広い知識を持つことが必要」とアドバイスを受け、学校で得られる専門知識のほかに、日常生活において得られることにも関心を持つようになりました。この経験をきっかけに人に頼る前に自分の頭で考え、それにより得られる結果や問題点を自ら導き出し、解決へと至れるように努力していきたいです。

本郷キャンパス

電気制御システム
工学科4年

飯坂 晋平



インターンシップに参加して

インターンシップとは、企業が大学生、専門学校生などに職場体験させ、将来の就職につなげようという活動です。僕は、e.TEAM ANAのインターンシップに参加し、航空機の整備や、社会貢献活動などを実際に見学しました。そこでは安全な航空機の運用を第一の目標に掲げ、社員同士が積極的にコミュニケーションを行っていました。インターンシップに行くまでは、それを通して得るものは少ないだろうと思っていました。しかし、目から鱗が落ちる気持ちでした。ごく一部ですが世の中の仕組みや社会人の気概や心持を理解することができました。インターンシップは、進路が就職の人、進学の人に関わらずすべての学生が体験すべきだと感じました。

本郷キャンパス

エコデザイン工学
専攻1年

前田 菜々香



海外インターンシップ体験で得たこと

私は、将来海外で働くことができたらと考えています。今回、調べただけでは分からない海外企業の工場や、実際に海外で働く日本人の方に話を伺いたいと思い、タイでのインターンシップに参加しました。現地では文化や考え方の違いにも驚かされることが多く、何もかもがとても新鮮でした。また、タイでは英語が通じない場面が多かったため、現地の方とのコミュニケーションは難しく、なかなか会話が成り立たないことも多かったように感じましたが、ボディラングージ等を使って一生懸命伝えようとすることで、意思の疎通を図ることができました。日本企業が海外での拠点として選ぶ場所は、英語が通じる場所とは限りません。今回のインターンシップを通して、英語が通じない場所で仕事や生活をする際のコミュニケーションの取り方についてヒントを得ることができたのではないかと思います。最後に、インターンシップで受け入れてくださった企業の皆様、準備の際にご指導いただいた先生方に心からお礼申し上げます。

射水キャンパス

電子情報
工学科4年

今井 大志



インターンシップで得たこと

私は夏休みの中頃、東京都にある株式会社NTT-MEのインターンシップへ参加しました。そこでは約60名の他高専学生が集まっていました。1人で東京に行ったこともあり、1週間このメンバーで過ごすのかという不安・緊張感がありました。しかし、インターンシップのプログラムが始まってみると、初めて出会った人とグループを作って通信についての課題を協力して解き、それについて発表したり、アクセス系・ネットワーク系実習で専門知識を学んだり、初めてのことに戸惑いはありましたが、優しく丁寧に教えていただいたおかげで、今まで以上に通信のことに興味をもてるようになりました。私自身のインターンシップの目的である、「自分の興味のある分野での職場の雰囲気を経験する」「情報通信ネットワークについて知識を深める」「コミュニケーション能力を身に付ける」の3つを達成することができ、非常に楽しく1週間で過ごすことができました。

射水キャンパス

制御情報システム
工学専攻1年

釣谷 拓希



インターンシップを通して学んだこと

私は夏季休業を利用して、株式会社アイエスピー東北さんに10日間お世話になりました。アイエスピー東北さんではアプリケーションの開発などを行っており、私は課題としてWebサーバーの構築を行いました。この課題は主にソフトウェアのインストール作業で、はじめは簡単なのではないかと思っていましたが、GUIでの作業、社内ネットワークのセキュリティの問題、ソフトウェアの設定などの様々な障害があり作業が思うように進みませんでした。1から物を作る難しさを実際に学ぶことができました。他にも社内のセキュリティ研修では個人情報の流出、会社でのちょっとしたミスが社会に与える影響の大きさについて学習することで、改めて今日の情報化社会の恐ろしさや社会のルールについて学べました。このインターンシップを通して私自身に今足りないもの、そして漠然としていた自分自身の進路先について答えがでた気がします。本当にありがとうございました。

射水キャンパス

国際ビジネス学科
4年

舟川 恵梨佳



インターンシップを終えて

私は文部科学省国際教育課でのインターンシップに参加させていただきました。私は以前より国家公務員の仕事に興味をもっていたため、このインターンシップを通じて国家公務員の仕事について理解を深めること、社会人としてのマナーや仕事に対する責任感を学ぶことを主な目的としました。インターンシップでは、留学推進や日本人学校、外国語教育等の国際教育課で行っている事業の説明を受け、普段職員の方々がやっている業務を体験させていただきました。業務内容は資料の作成や会議の準備等、単調で時間のかかる作業が多く、根気が必要だと感じました。しかし、それぞれの事業には多額の予算がかかっており、国や世界という規模で仕事をするのに対してやりがいを感じました。今回のインターンシップでは、国家公務員という仕事について、しっかりと向き合い理解を深めることができました。ここで学んだ様々なことを、今後の進路選択に生かしていきたいです。

射水キャンパス

国際ビジネス学
専攻1年

筏 智美



インターンシップで得たもの

私は、9月14日から18日の5日間にかけて、株式会社ハイテックスでのインターンシップに参加しました。主なインターンシップ内容は、座学、プログラミング体験、システム設計体験でした。座学では、SEの仕事やプログラマーの役割について学び、実際にどのような事業をされているのかを紹介していただきました。プログラミング体験では、C++言語のテキストに基づいた作業を行い、システム設計体験では、実際に、通販サイトのシステム設計を行いました。IT業界における仕事を知りたいと思い、参加したインターンシップでしたが、実際に体験した作業には分かることがほとんどありませんでした。そのため、終わるころには、多くの新しい知識を身につけることができたと強く感じました。今後の生活において、意識し続けたいと思ったことは、作業の進行状況を正確に報告することです。正確な報告から、的確なアドバイスを受けることができることを強く学びました。

退職教職員挨拶

射水キャンパス

校長特別補佐
成瀬 喜則



富山高専で勤務して

平成4年4月に本校(射水キャンパス)に着任して以来、24年間お世話になりました。前任校でも進路指導や生徒指導をしていたこともあり、教えることについては特に違和感はなく、楽しく授業をすることができました。

担任として学生と語り合ったことや、主事として行事を成功に導くために学寮会や学生会と共に立案したこと等、多くの思い出があります。多くの学生と知りあうことができ、皆さんと共に活動できたことが私にとって大きな財産となっています。これまで多くの学生諸君を見て感じてきたことは、何かに打ち込むことがいかに大切であるかということでした。研究であったり、ロボコンであったりと人それぞれですが、学習、部活動、資格取得など、何か一つのことに打ち込んでいる姿は素晴らしい、どの年代であれ、あることに集中して取り組むことができれば、豊かな人生を歩むことができるのではないかと思います。

「継続は力なり」と言う言葉をよく聞きます。大きな目標を持ちながらも「今できることを一生懸命やる」ことが夢の実現につながるのだと思います。高専という素晴らしい教育環境の下で、存分に勉強や研究、課外活動に打ち込んでください。

この3月で本校を去ることとなりました。学生諸君、保護者の皆様、本校の教職員の方々には、長年にわたりお世話になりました。ありがとうございました。また、見かけたらぜひ声をかけてください。

射水キャンパス

商船学科
遠藤 真



35年間、 キャンパスに通って

1981年1月に富山高専・射水キャンパス(旧富山商船高専)を初めて訪問しました。豪雪の年で、バスから見えるのは雪の壁だけ、履いてきた革靴はぐちゃぐちゃになり、静岡で育ち、東京・横浜で暮らしていた私は、雪の多さに唖然とするとともに、雪国での生活に不安になったことを覚えています。その年の4月から35年間、同じキャンパスに通い、変わらぬ教師生活を送り、雪にも慣れました。

この35年間に1989年のベルリンの壁の崩壊に始まり、阪神・淡路大震災、アメリカ同時多発テロ、東日本大震災・大津波・原発事故、昨年のパリ同時多発テロまで、幾つもの衝撃的な出来事が起き、価値観や人生観を変えざるを得ないほどの社会変化が凄スピードで繰り返されました。「私自身が何をどう把握すればよいのか?」、また、「学生に何をどう伝えるべきか?」などに悩み、今も解けない謎(疑問)として残っています。

先が読めず不安を覚える社会状況ですが、「社会が大きく変わる時代においても、勉強こそが将来への扉をあけるものであること」を信じています。

皆さんが、キャンパス、家庭、社会で多くのことを真摯に学び、自分の将来を切り開いて行くことを期待するとともに、ぜひ、この謎(疑問)を解いてくれることをお願いします。

長い間、ありがとうございました。

射水キャンパス

一般教養科
金川 欣二



歳月人を待たず

38年間も同じ学校で勤められたことは本校を通して出会えた人々のおかげです。同僚の先生やスタッフの方々、学生たちや保護者のみなさん、多くの人と出会えて幸せでした。激動の歳月の中でこうしてハッピーリタイアメントを迎えられるのは奇跡のような気がします。

思えば、航海2、機関1クラスから航海、機関、情報工学になり、商船、情報、電子制御工学の3学科になり、落ち着いたと思ったら国際流通が加わり、統合して商船、電子情報工学、国際ビジネスとなりました。

男子校だったのが、女子が日本一多い高専になりました。制服も、建物も、田んぼばかりだった周りのようすもすっかり変わりました。

大学は2018年問題を抱え、厳冬を迎えることになるとありますが、高専もまた激動の中にあります。幸いなのは、本校には優秀で志の高いスタッフが集まり、揺るぎない成長が確信できることです。

もうすぐ110周年を迎える本校は地元にも愛されています。これからも学生の期待を裏切らない学校として、不動の地位を維持するように切にお願い申し上げます。ただ、在任中に6人もの同僚教員が亡くなり、その意味でどうか、教職員のみならずは無理をなさらないようにしてください。

長い間、本当にありがとうございました。

射水キャンパス

一般教養科
金子 龍一



挑戦前進!

小・中・高10年の教員経験の後、平成元年に本校に赴任し27年間お世話になりました。

「スポーツ・陸上競技を通して人間を育てたい」と思い教員になりましたが、それが、一番実践できたのが、本校に奉職できたお蔭だと感謝いたしております。

陸上競技の指導では、元気に明るく自分とチームが強くなることを追求する精神や方法が、勉強・仕事の進歩・向上を追求していく人間になっていくことを狙ってきました。

当時の陸上同好会は、2年生が5人新入部員が1人で始まり日本一弱いチームでした。それから、強くなる夢を追う集団になっていきました。

北陸で勝つのに2年、全国高専で通用するのに4年かかりました。それから、全国高専大会では総合優勝12回・入賞12回を積み上げました。しかし、趣味の陸上競技で将来いい生活は、保障されません。学業重視、「人間・学生・選手」の順番で大切である」をモットーに、一人ひとりが思いを遂げられる進路獲得の指導にがんばりました。

それから、赴任当時はオイルショック以来の商船不況で志願者倍率も低く電子・情報工学科の学内改組が始まり上昇変化や活気が出てきた時期でした。中学校の教員経験をいかして、志願者対策・宣伝活動を自慢話ばかりでがんばりました。国際流通学科が設立されたくらいから軌道に乗り、平成10年くらいから併願制では、全国トップ争いをしている人気校になりました。世の中の流れの「国際化・情報化」を冠する学科があり、学校のあたたかさ、学生への面倒見のよさが、志願者の多さを支えていると言えます。

これからも、本校の発展を願って、学生と共に夢を追って挑戦・前進してください!! 長い間ありがとうございました。

射水キャンパス

若潮丸 機関長
佐々木 正



定年に思う

昭和48年に学舎を出て以来、1日の失業も病気療養休暇もなく定年をむかえる自分を振り返ってみると、つくづく私は「天」「地」「人」すべてに恵まれていたように思われます。

民間企業人として15年間勤めた後、縁あって母校でもある富山商船高等専門学校に勤務することになって以来、学生たちは無論のこと素晴らしい人々との出会いと、持ち前の運のよさで何とか28年間勤めることができました。改めてこれまでに私と関わりを持ったすべての方々へ感謝したいと思います。ありがとうございました。

着任後は新設間もない電子制御工学科の助手を務めました。その内容たるや、それまで経験したことのない分野で、むしろ苦手の専門分野であったこともあり、当時の先生方や学生達には迷惑をかけただけの申し訳ない4年間でした。

その後の24年間は専門である「船」練習船に関わらせてもらいました。着任早々からより実践的な実習とするため、実習内容やそれに伴う資料を刷新するのに15年ほどかかったことが思い出されます。その成果は形として最後まで見えませんでした。それらの作業に積極的に協力していただいた乗組員の方々に感謝いたします。

お詫びと感謝の繰り返しの28年間でした。ありがとうございました。

Toyama Kosen News & Topics

ニュース & トピックス

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。
(http://www.nc-toyama.ac.jp/)

専攻科生がThe 34th JSST Annual Conferenceの Student Presentation Awardを受賞

専攻科制御情報システム工学専攻2年生の坪内勇樹君が、日本シミュレーション学会(JSST)よりStudent Presentation Awardを受賞しました。

本賞は、平成27年10月12日～14日に開催されたThe 34th JSST Annual Conferenceの発表者の中から厳正な審査のもと特に優秀な研究発表に対して表彰されるもので、多くの大学院生が発表する中での受賞となりました。

発表タイトルは「Geant4 Monte Carlo Simulation for Beta Ray Spectra in Liquid Scintillation Counter for Estimating Detection Efficiency」で、医療や環境分野で放射能計測に用いられる液体シンチレーションカウンタ装置のシミュレーション開発と改良を行い、信頼性の高い計算が可能であることを示しました。この成果により、新たな計測機器の設計・開発へのシミュレーション応用が期待されます。

坪内君は4月から大手企業の情報関連部門に就職予定であり、今後の更なる活躍が期待されます。



富山県機電工業会主催論文 「ものづくりinとやま」で 2名が優秀賞を受賞しました

富山県機電工業会が主催している論文「ものづくりinとやま」において、電気制御システム工学5年・大

井晃亮さんと物質化学工学科2年・木下彩さんが大学・高専の部で優秀賞を受賞しました。

本論文は次世代の日本、富山県を担っていく学生がものづくりに対しどのような思い、考えを持っているかをテーマとして募集され、優秀な論文が表彰されるものです。

大井さんは近年いっそう進んでいるオートメーション化から考えられるものづくり業界の将来やあえて残す手作業の重要性、そしてロボットとの共存について論じました。

木下さんは業種は異なるがそれぞれ理系の研究開発に携わっている父・兄の姿から考える富山における異業種融合について論じました。



専攻科生が 電子情報通信学会北陸支部 学生優秀論文賞を受賞



専攻科制御情報システム工学専攻2年生の松浦草太君が、電子情報通信学会北陸支部学生優秀論文発表賞を受賞しました。

本賞は、平成27年9月12日、13日に開催された電気関係学会北陸支部連合大会発表論文の中から厳正な審査のもと特に優秀な論文発表に対して表彰されるもので、多くの大学院生が発表する中、高専では唯一の受賞となりました。

論文タイトルは「高精度位置情報を用いたハザードマップ照合システムの開発～画像処理を用いたハザードマップのデータベース化～」で、松浦君(新湊南部中学校出身)の地元射水市の洪水ハザードマップ情報をデータベース登録するための画像処理アルゴリズムを提案し、さらに日本国内で進められている準天頂

衛星等から得られる高精度位置情報とハザード情報とを紐付けしたモバイル・サーバ連携システムを開発実装しました。

松浦君は4月から大手情報関連機器・精密機器企業に就職予定であり、今後の更なる活躍が期待されます。

Joint CAST 2015 射水キャンパス、 本郷キャンパスで開催



1月13日(水)、射水キャンパス、本郷キャンパスにおいて、Joint CAST 2015が開催されました。

CASTは、英語学習に対する意欲向上、研究発表に対するスキル向上を目的として、専攻科生が国際学会などで行った英語によるプレゼンテーションを学内で披露し、海外から招聘したnative speakerと活発なディスカッションを行うものです。

第7回目となる今回のCASTは、本校射水キャンパスをメイン会場とし、本郷キャンパス、松江工業高等専門学校、熊本高等専門学校の4拠点をGI-netシステムで結び、計4名の専攻科生がそれぞれのキャンパスでプレゼンテーションを行いました。

本校専攻科生による総合司会の下、石原校長の開会挨拶に続いて、松江高専、熊本高専、富山高専(本郷キャンパス)、富山高専(射水キャンパス)の順に発表が行われました。コメンテーターとして、本校の交流協定校である英国・北アイルランドのサウス・イースタン地区連合カレッジ(SERC)、米国・ハワイのカウアイ・コミュニティ・カレッジ(KCC)、タイのキングモンクット工科大学(KMITL)から招聘した外国人教員計4名が、メイン会場である射水キャンパスの会場からそれぞれ質問をし、発表学生が英語で答えました。

本校では、専攻科生や来年度専攻科入学予定の学生および教職員等約70名が、4名の学生の発表とnative教員とのディスカッションを熱心に視聴しました。

平成27年度卓越した 学生の表彰を行いました (本郷キャンパス)



2月24日(水)、終業式において、「卓越した学生」に選出された機械システム工学科4年・道下凧司さんの表彰を行いました。道下さんは優秀な学業成績をもって国立高専機構が認定する「卓越した学生」として選出され、後学期授業料が免除されます。

国際会議ICET2015を タイ・バンコクで 開催しました



富山高専とタイのキングモンクット工科大学ラカバン校(KMITL)は、平成27年12月17日～18日に工学と技術に関する国際会議ICET2015(International Conference on Engineering and Technology 2015)をKMITLで開催しました。

この会議の目的は両校の教員による研究発表を通して、教員交流と共同研究の促進を図ることであり、両校の教職員約40名とKMITLの学生、タイの日系企業技術者6名が参加しました。会議では石原校長によるキーノートスピーチと機械、電気、情報、ビジネスなどの分野の合計19件の口頭発表があり、活発な質疑応答や意見交換が行われました。また、企業発表では本社が富山近隣にある企業(3社)から製品や技術の紹介が行われ、参加した教員や学生たちは熱心に説明に聞き入っていました。

なお、当会議にあわせ、両校の国際交流に対する多大な貢献を賞し、石原校長よりKMITL Suchatvee Suwansawat学長へ特別栄誉教授の称号を授与しました。富山高専とKMITLは今後も積極的に連携を進めていく予定です。



富山高等専門学校

平成28年度行事予定

月	学 科	専 攻 科	学 外 行 事
4	入学式 始業式 新入生オリエンテーション 前学期授業開始 定期健康診断 交通安全講習会(4・5年/本郷)	入学式(海事システム工学専攻を除く) 始業式 前学期授業開始 定期健康診断 交通安全講習会(本郷)	
5	1年生生宿研修 第8回高専祭(北斗祭) 交通安全講習会(4・5年/射水) 校内球技大会(本郷)	第8回高専祭(北斗祭) 交通安全講習会(射水) 校内球技大会(本郷)	
6	前学期中間試験	推薦入試・学力入試	
7	カッターレース大会(射水) 前学期期末試験(7・8月) 卒業研究発表会(商船学科 7・8月) 保護者懇談会(本郷)	カッターレース大会(射水) 特別研究発表会(海事システム工学専攻)	北陸地区高専体育大会(6・7月) 全国商船高専漕艇大会(カッター部門)
8	夏季休業(8・9月) インターンシップ(8・9月) 夏季オープンキャンパス	夏季休業(8・9月) インターンシップ(8・9月)	全国高専体育大会
9	卒業式(商船学科) 保護者懇談会(射水)	修了式(海事システム工学専攻)	全国商船高専漕艇大会(ヨット部門)
10	後学期授業開始 県外工場見学(4年生) 県内工場見学(3年生) 校外研修(2年生) 消防訓練	入学式(海事システム工学専攻) 後学期授業開始 消防訓練	プログラミングコンテスト(全国大会) ロボットコンテスト(東海北陸地区大会)
11	企業研究会 秋季オープンキャンパス 合同球技大会 後学期中間試験	企業研究会 合同球技大会	ロボットコンテスト(全国大会) デザインコンペティション(全国大会)
12	冬季休業(12・1月)	冬季休業(12・1月)	
1	学習到達度試験(3年生) 推薦入試		英語プレゼンテーションコンテスト(全国大会)
2	学年末試験 学力入試 終業式 卒業研究発表会(商船学科を除く)	特別研究発表会(海事システム工学専攻を除く)	
3	卒業式(商船学科を除く)	修了式(海事システム工学専攻を除く)	

Editor's room 編集後記



の春には、ご退職の挨拶を掲載した教職員以外にも多くの異動があり、他の教育研究機関で移られる先生も多くおられます。紙面の都合ですべての皆様から学生・教職員へのお言葉をいただけなかったことをお詫びするとともに、新天地での活躍をご祈念申し上げます。

広報戦略室 池田慎治

問い合わせ先	本郷キャンパス : 〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地 射水キャンパス : 〒933-0293 富山県射水市海老江練合1番2	TEL 076-493-5402 TEL 0766-86-5100	http://www.nc-toyama.ac.jp/
--------	---	--------------------------------------	---



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。